



伊那市議会9月定例会では24議案と請願・陳情2件、議員提出議案1件が提案され審議を行いました。今定例会に上程された議案と請願・陳情を紹介します。

全会一致で可決した議案など

(人事案件)

◆**人権擁護委員候補者の推薦**(丸山勝治氏、西村貢一氏の人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。)

(一般案件)

◆**市道路線の認定**(日影28号線の認定について可決しました。)

◆**市道路線の廃止**(大萱団地6号線の廃止について可決しました。)

◆**請負契約の締結 2案件**(東原工業団地雨水浸透施設整備工事、戸台口山岳観光拠点整備工事の請負契約の締結について可決しました。)

(条例案件)

◆**林業振興施設条例の一部改正**(長谷山村広場施設を廃止する条例改正について可決しました。)

(令和4年度決算認定案件)

◆**一般会計、特別会計9会計、企業会計3会計**

(令和4年度の各会計決算について、決算特別委員会(議長を除く全議員が参加)を設置して審査を行い、認定・可決しました。)

(令和5年度補正予算案件)

◆**一般会計、特別会計4会計**

(物価高騰の影響を受けるひとり親家庭の児童への支援、燃油や電気料金、飼料の高騰が経営に大きく影響している施設園芸農家、畜産農家などへの支援などに対する補正予算計5件を可決しました。)

(請願・陳情)

◆**地方財政の充実・強化を求める国あて意見書の提出を求める請願**

(地方財政全体の安定確保に向けて、国に対して意見書の提出を求める請願を採択しました。)

(請願者:伊那市職員労働組合 執行委員長 村田 由紀子 氏(紹介議員:二瓶 裕史 議員、小池 隆 議員))

(議員提出議案)

◆**地方財政の充実・強化を求める意見書の提出**

(地方財政全体の安定確保を求める内容の意見書の提出について可決しました。)

賛否の分かれた議案など

請願・陳情について 採択…○、不採択…×、趣旨採択…☆
(なお、原則として議長は採決に加わりません。)

区分	件名	委員会結果	池上謙	伊藤のり子	唐木拓	小池隆	篠塚みどり	高橋姿	高橋明星	三石佳代	湯澤武	吉田浩之	小林眞由美	田畑正敏	原一馬	三澤俊明	宮原英幸	二瓶裕史	野口輝雄	唐澤千明	飯島光豊	柳川広美	白鳥敏明(議長)	本会議結果
請願・陳情	◆ 国に対し「健康保険証廃止の中止を求める意見書」の提出を求める陳情書(陳情) (陳情者:上伊那医療生活協同組合 安心まちづくり委員会 伊那市連絡会代表 大場 美広 氏)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○		不採択

9月伊那市議会定例会 一般質問から

令和5年9月伊那市議会定例会の一般質問は、9月5日、6日、7日の3日間にわたって行われ、20人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をお知らせします。



しのづか 篠塚 みどり



おくやみ窓口設置について

問 篠塚みどり議員 死亡時の手続について、遺族の負担軽減に向け、一つの窓口で済む「おくやみ窓口設置」は。

答 市長 窓口での市民負担軽減のため、DX(デジタルトランスフォーメーション)による取組が全国的に検討されている。DXを取り入れながら負担軽減を図りたい。

学校及び公共施設トイレの洋式化について

問 篠塚みどり議員 子どもや高齢者のため、避難所、公共施設のトイレの洋式化は。

一般質問から

答 市長 市の施設のトイレは、原則、洋式化することを基本方針としている。各施設の整備計画に基づき、改修を進めている。

ウォーキングアプリで、楽しく歩いて健康推進について

問 篠塚みどり議員 ウォーキングアプリによる市民全員の健康推進は。

答 市長 研究し、検討していく。



のぐち てるお 野口 輝雄



市単独事業における各地区の要望箇所工事をさらに進めるための提案

問 野口輝雄議員 市単独事業の工事が進まず、毎年多くのやり残り箇所が出ている。さらに多くの工事を進めるために2点の提案をする。

①ふるさと納税や余った予備費を基金として貯め、数年ごとの大規模な予算執行を提案する。
②執行された市単独事業工場の各地区への負担金を廃止(条例を廃止)することを提案する。

答 市長 ①ふるさと納税と余った予備費を使うことは難しいが、不用額は決算剰余金として基金に積み立てることができ。ただし、予算執行は、平準化が求められている。②主に地元の方が使う生活道路の改良事業には負担金をお願いしている。

問 湯澤武議員 伊那新校の可能性と伊那市のまちづくりの方向性について



ゆざわ たけし 湯澤 武



湯澤武議員 伊那新校の方向と伊那弥生ヶ丘高校の将来活用についての考えは。

答 市長 「進徳館から続く実学の精神」が流れ、「自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校」となるよう期待している。

伊那弥生ヶ丘高校の将来活用は、県の意向を元に、市民の声を聞きながら、新たなまちづくりにつなげる活用を検討したい。

認定農業者の農機具購入への支援充実について

問 湯澤武議員 認定農業者の機械購入への支援充実を。

答 市長 令和6年度の予算策定に向け、10月に希望調査を行い、その希望内容を反映させる。

带状疱疹と肺炎球菌のワクチン接種補助について

問 湯澤武議員 带状疱疹や肺炎球菌ワクチンの接種補助を。

答 市長 带状疱疹は、国の動向などを注視する。肺炎球菌ワクチンは、来年度、上伊那広域連合で自己負担額を下げられるよう検討していく。



やながわ ひろみ 柳川 広美



妊産婦の医療費無料化・産後ケアの充実について

問 柳川広美議員 妊産婦の医療費無料化と産後ケアやママヘルプ事業の拡充を。

答 市長 医療費は、受給者の少額負担有りで可能か検討する。産後ケアは、医療機関や助産所と受入体制を調整し、事業見直しを行う。ママヘルプ事業は、家事代行ではないことを念頭に事業内容の検討を行う。

おもちゃ美術館について

問 柳川広美議員 木曾町におもちゃ美術館を、伊那市にも設置を。

答 市長 東京おもちゃ美術館には伊那市の木育おもちゃの監修をいただいている。伊那市産の木のおもちゃを売る場所を考える。

伊那北駅前再開発について

問 柳川広美議員 高校再編に伴い、伊那北駅前など

再整備が議論されている。東に改札口を。駐車場も増やすべき。

答 市長 駅東側への改札口設置、県道への歩道橋設置、踏切改良などを検討している。駅北側では、民間業者による優良建築物整備が計画されている。



たかはし すすむ
高橋 資



野焼きについて

問 高橋 資議員 伊那市は富山県の3倍火事が多い。野焼きに届出制を設けては。メールや電話の通報は可能か。

答 市民生活部長 野焼きは基本的に禁止。上伊那広域連合火災予防条例に、消防署長への届出は義務とある。生活環境課へのメールも可能。平日休日を問わず通報に対し生活環境課及び警察が対応を実施している。

問 高橋 資議員 野焼きに代わる処理方法は。

答 市長 剪定枝の堆肥化、チップ化などの伊那市に合った代替措置を研究したい。

バイオ炭について

問 高橋 資議員 もみ殻や剪定枝を使った農業のバイオ炭は、二酸化炭素を抑制する。伊那市での取組は可能か。

答 市長 農家の新たな収入源の可能性もある。農協などと連携し、バイオ炭の効果的活用法を検討したい。

火に対する教育について

問 高橋 資議員 たき火を安全に教育できる場所の設置を。まんど振りや百八灯など火の伝統文化の観光資源化について。火に関する条例を制定できないか。

答 市長 たき火の場所が広がることは期待する。観光化や条例化をせず、普通に火のある伊那の魅力な姿を発信し、大切さを子どもに経験させたい。



こいけ たかし
小池 隆



公共工事の働き方改革と将来ビジョンについて

問 小池 隆議員 建設業における週休2日制を導入した適正工期の発注を。

答 市長 令和6年度から実施予定。

問 小池 隆議員 工事入札の最低制限価格を県並みに。

答 市長 引上げ予定はないが、引き続き適正な設定に努めていく。

問 小池 隆議員 建設業の若手育成・確保のため、上伊那総合技術新校に「建設学科」設置の要望を。

答 市長 工業系学科に建設分野の過程を取り入れるなど、地域で活躍できる技術者養成につながる教育を期待している。

保育内容の充実と保育現場における会計年度任用職員の処遇改善について

問 小池 隆議員 大規模園で採用している「おそうじ先生」の拡充を。

答 保健福祉部長 全園で採用予定。保育士の負担軽減策として勤務時間の延長も考えていく。

問 小池 隆議員 クラス担任、調理責任者を受け持つ会計年度任用職員について、パートタイムからフルタイム化し、勤勉手当支給、退職金制度を含めた処遇改善を。

答 市長 現在、人事院勧告を踏まえ、処遇改善を検討している。今後は、フルタイム化導入の必要性や課題について研究していく。



みざわ としあき
三澤 俊明



アスファルトの舗装について

問 三澤 俊明議員 アスファルト欠損時に発生する「がら」は、産業廃棄物となるため回収が必要となるが、現在、取決めはあるか。

答 建設部長 工事にあたる小規模補修業者が回収し、適切に処分している。

問 三澤 俊明議員 「がら」は、放っておくと小石並みに細分化し、近辺の小石と混ざってしまい回収不能となるが対策は。

答 建設部長 道路の欠損は、思わぬ事故につながる可能性があるため、発見し次第、早めに市役所に連絡して欲しい。

自衛隊の災害派遣要請について

問 三澤 俊明議員 災害時の自衛隊派遣要請の判断

基準やプロセスは。

答 市長 伊那市業務継続計画に基づいて、発災から3時間以内に要請を決定し、上伊那振興局長を経由して、市長が知事に派遣を求める。

問 三澤 俊明議員 伊那市として自衛隊員確保のために行っていることは。

答 市長 大災害においては人命救助や被災者の支援ができないので、伊那市では自衛隊の募集に関して、ホームページ・市報での広報、高齢者の名簿の提出、キャリアアフェスへの参加の案内などを実施している。



みやはら ひでゆき
宮原 英幸



空き家の現況、特に特定空き家について

問 宮原 英幸議員 放置するほど解決困難になる特定空き家への対応は甘く、対策計画の成果が見えないが。

答 市長 所有者への改善通知で改善した事例もある。

改善に至るまでに相当程度の期間を要するが、特別措置法改正後の具体的内容が固から示され次第、その他の強化策を含め、協議会の開催回数も検討するなどして対応していく。

将来の市営墓地の在り方について

問 宮原英幸議員 合葬式墓地の考えはどうか。

答 市長 霊園などに関する問合せは毎週あり、社会環境や死生観の変化で永代供養・合葬に関する内容は多い。大きな社会課題であり、墓地増設などについて市内全域を視野に検討を始めている。

スポーツ合宿などの推進について

問 宮原英幸議員 食事を含む宿泊対応や利用施設への市の関わりはどうか。

答 市長 食事を含め、市としても宿泊業者の状況や意見を収集し、関わりを深めるとともに、農家民泊など市の有用資源を情報発信していく。



ごみの出し方と収集について

問 小林眞由美議員 地球温暖化対策となるごみ分別促進アプリ「さんあくる」のダウンロード用QRコードを、「指定ごみ袋購入チケット」の封書に印字しては。

答 市長 ごみチケットの封書への印字は、上伊那広域連合との関わりがあるため、今後の課題。「さんあくる」については広めていきたい。来年度用のごみ・資源物収集カレンダーにQRコードを印字する予定。

問 小林眞由美議員 ごみ収集のIoT化を。

答 市長 収集車の巡回ルート・作業の効率化や燃費削減など、IoT技術がより使いやすいつい仕組みとなれば導入の可能性はある。情報収集をしながら事業者と意見交換を行い、研究したい。

重層的支援体制整備事業の実施内容について

問 小林眞由美議員 参加支援事業の実施内容は。

答 市長 伊那市社会福祉協議会へ委託しており、既存の支援では対応困難な複雑化・複合化したニーズに対して、地域の社会福祉資源や支援メニューをコーディネートし、地域社会とのつながりをつくる支援を行うもの。



伊那市の林業施策について

問 吉田浩之議員 一定範囲内を全て伐採する皆伐をどう考えているか。

答 市長 地形を考慮しながら国県が推奨する皆伐を推進し、林齢の平準化を図っていく。

問 吉田浩之議員 作業道補修のため原材料の支給などの支援をしてもらえるか。

答 市長 広域的に利用される、森林の維持管理に必要な作業道は、状況を確認し相談に乗っていく。

問 吉田浩之議員 伊那市の林業のブランド化として何

を目指しているか。

答 市長 適地適木を考え、アカマツ、カラマツを残しつつ、針広混交林が良いのではないかな。

中学校部活動の地域移行について

問 吉田浩之議員 部活動の地域移行をどのように進めようとしているか。

答 教育長 地域の関係者と意見交換を行い、具体的な検討を進めていきたい。

問 吉田浩之議員 地域移行に向けた伊那市教育委員会のスケジュールは。

答 教育長 今秋、県から示される活動指針を受けて、具体的なロードマップを作成し、取り組む。

問 吉田浩之議員 学校と受入側との調整役を配置するべきではないか。

答 教育長 適切な時期に必要な人員配置を検討していきたい。



情報のバリアフリーについて

問 二瓶裕史議員 ①音声認識アプリ「UDトーク」を窓口を導入しては。②市内図書館での「デイジー図書」の活用を。

答 市長 ①文字変換アプリについて研究し、社会福祉課の窓口で試験的に運用してみたい。

問 教育長 ②現在、音声デイジー図書を導入しているが、広報に課題がある。適切に情報が届くよう検討したい。

IT人材の育成について

問 二瓶裕史議員 国家試験「ITパスポート」取得への補助を。

答 市長 取得支援を含め、効果的な施策を検討する。

薪ストーブやペレットストーブの燃焼灰について

問 二瓶裕史議員 燃焼灰を回収できないか。

答 市長 今後どのような対応ができるか検討したい。

リチウムイオン電池の回収について

問 二瓶裕史議員 発火事故を防ぐため、回収回数を増やすことはできないか。

答 市長 回収回数の増加を検討したい。

こ 伊藤 のり子
いとろ 伊藤 のり子


中学校内に「自由な居場所」を

問 伊藤のり子議員 県外で、中学校内に「自由な居場所」を設置して注目されている市がある。①伊那市のご数年の不登校児童数と、全児童生徒数に対する割合は。②不登校児童生徒数が大きな問題となっていることをどう捉えているか。③中学校内に自由な居場所を設置する対策はとれないか。

答 教育長 ②支援の取組をさらに進めるべき課題と捉えている。③校内中間教室と呼ばれる部屋を設置している

学校が小中各5校ある。また、保健室や図書館なども使って、学校全体として子どもたちの居場所づくりに取り組んでいる。

教育次長 ①年々増えている傾向である。

生活保護受給率を上げるために

問 伊藤のり子議員 ①突如ひとり親家庭になったり、解雇されたりした隠れ困窮世帯の把握はできているか。②伊那市の生活保護受給率は全国平均の2割弱とあまりにも少ないが、どのように考えているか。

答 市長 ①福祉関係部署や地域などと連携して隠れ困窮者の把握に努めていく。②申請の意思が示された相談者に対しては速やかに手続を行っているが、厚生労働省からの通知などに沿って適切な対応を行っていく。

いいじま みつとよ 飯島 光豊


市が自衛官募集のため自衛隊に名簿提供していることについて

問 飯島光豊議員 市長は、18歳と22歳の全市民の名簿を自衛官募集名簿として自衛隊に提供している。市民の提供中に要請にどう答えるか。

答 市長 名簿提供など協力すべきと考える。除外申請は、来年度の実施に向けて検討する。

問 飯島光豊議員 提供の法的根拠はなく、県内9市では提供されていない。

答 危機管理監 個人情報の保護に関する法律第69条の規定に基づき提供している。

問 飯島光豊議員 市は、提供される本人に対して提供する前の説明責任があるはずだが。

答 危機管理監 自衛官募集案内は、個人の権利、利益を侵害するものではないと考える。

問 飯島光豊議員 本人への周知は、市ホームページだけでなく、郵送により同意不同意を尋ねるべきではないか。

答 危機管理監 現状では市ホームページによる広報が有効であると考えている。

問 飯島光豊議員 周知は市ホームページだけでなく、チラシやポスターなどを市が作成し、高校生などに配布し掲示すべき。スマホなどの電子申請

も受け付け、申請の期間は4か月以上取るべき。

答 市長 参考として研究する。

市の農と食の危機打開について

問 飯島光豊議員 市予算1%の3億円で実現できる学校給食費無償化の検討は。

答 市長 まだ検討中である。

からさわ ちあき 唐澤 千明


文化都市を目指すことについて

問 唐澤千明議員 ①令和2年3月に策定した「伊那市歴史文化基本構想」の狙いと策定後の主な取組は。②合併20周年の記念事業である「伊那市誌」編さん事業の現状と今後の予定は。③伊那弥生ヶ丘高校の将来活用に文化的機能を備える構想を提案するが考えを。

答 市長 ③文化財や市誌編さん収集資料など保存しながら、広く市民の皆さんに活用していただく施設については、今後検討していく。

教育長 ①市民一人ひとりが「私たちの財産」として認識し、保存活用継承するために策定。現在、文化財の保存活用地域計画を策定している。②令和2年度から本格スタートし、9編19冊での構成となる。まず第1弾を令和7年度に4冊発行し、残りを令和11年度までに刊行する予定。

気になる野良猫を減らしていくことについて

問 唐澤千明議員 飼い猫を含む野良猫への不妊去勢手術に対し、伊那市として費用を助成することについて考えを。

答 市長 長野県動物愛護会上伊那支部が一匹当たり3千円の補助を行っているが、2〜3年後には無くなる。同支部の補助事業の状況を見ながら今後検討する。

はら かずま 原 一馬


市民参画の地域づくり、上の原幹線歩道設置に向けた地元住民の取組について

問 原一馬議員 上の原区最大の地域課題である危険な通学路の道路改良については、地元住民の自らの努力によって、全地権者から用地確保に関する同意を得た。市の積極的な対応が求められる状況であるが市長の考えは。

答 市長 大規模な事業については、ルールとして、まず伊那市幹線道路網整備計画に載せてからということになる。

立地適正化計画の策定とインフラ整備について

問 原一馬議員 生活道路の維持・補修を続けるのか。中長期的なインフラ整備計画は無くても良いのか。

答 市長 これまでどおり地域からの要望を受け、優先順位を付けて予算の範囲内で実施していく。

問 原一馬議員 農振地域は国庫補助事業を活用して維持・改修が進んでいるが、市街化が進む用途地域の水路改修は進んでいない。その大きな原因の一つが2割分の地元負担金であるが、これをゼロにできないか。防災のため市の事業として進めるべき

と考えるが市長の見解は。

答 市長 市が管理費を分担することや、地域内の多様な水路使用を考慮した負担率の軽減などを検討する。



特別教室のエアコン設置状況について

問 高橋明星議員 音楽室などの特別教室について、必修科目教室についてはエアコン設置が必要と考える。

答 教育長 来年以降、使用頻度などを見て、伊那地区の中学校から計画的に設置していく。

市庁舎内の施設整備について

問 高橋明星議員 市庁舎の授乳室はダンボール製で、暗く手狭であり安心して授乳できる環境ではない。母親という存在をもっと大切にすべき。

答 総務部長 現在の授乳室は、限られた設置場所の中でプライバシー保護を観点に選定しており、既製品は高額である

ため、災害時用の簡易授乳室を利用した。照明は改善したい。

こどものキモチ

問 高橋明星議員 少子化対策は保護者の負担軽減だけでなく、子どもの気持ちを大切にし、こころを育てることが重要と考える。

答 保健福祉部長 保護者が安定した気持ちでいることが、子どもの幸せにつながることを考える。子どもの気持ちを最優先に考えながら様々な支援を行い、子どもが夢を持って成長できる伊那市を目指したい。



市道の橋梁補修・拡幅改良・市道認定並びに一般車両の通行について

問 池上謙議員 美和ダムに架かる神田橋が錆びてきており、長寿命化並びに県立公園の景観保持のため、全面塗装を早期にお願いしたい。

答 市長 5年に一度の橋梁点検の結果、塗装については

緊急性が無く、当面塗装の予定は無い。

問 池上謙議員 市道原古和首線及びその先線を美和ダム左岸道路として認定し、拡幅改良・待避所整備などを行い、常時一般車両の通行を可能にしたい。

答 市長 市道の利用者数を見ながら、検討していきたい。

問 池上謙議員 美和ダム堤体の上を通行し、高遠町勝間地籍への一般車両の通行を可能にしたい。

答 市長 通行止め解除のため、美和ダムのトンネル補修を含め、国土交通省に依頼している。

国道152号並びに県道駒ヶ根長谷線の冬季閉鎖の解消について

問 池上謙議員 冬季に閉鎖される県道を除雪・融雪することで、年間通行可能にしたい。

答 市長 現在は、期成同盟会を通じて、トンネル化を含めた年間通行ができるよう要望をしている。



50年の森林ビジョンの前提となる人口予測について

問 三石佳代議員 少子化対策として、林業復活で若者の高水準安定所得を提案した際、答弁の中で50年の森林ビジョンが挙げられたが、50年後の人口を何人と予測した計画か。

答 市長 令和22年の推定人口は、国立社会保障・人口問題研究所の5万7,393人に、移住定住促進策の増加を加味した6万3,605人とした。

独自財源確立のための宝くじ販売について

問 三石佳代議員 まずは持続可能な財源をつくることが重要。宝くじは70年以上続く実績がある。人口制約撤廃など法改正の要望書を提出したが、法が改正された場合は、宝くじの販売をするか。

答 市長 仮に法が改正されても、複雑な事務処理、多額な業務委託や競合による販売

不振の赤字負担などを考え、慎重であるべき。



命名権（ネーミングライツ）について

唐木拓議員 現在、新規で募集をしていないが、再開の計画はあるのか。

市長 現在、募集の再開に向けて条件の検討を進めている段階である。

唐木拓議員 スポーツ施設のみならず、様々な場所や物に対する命名を可能にすれば自主財源が増えるのでは。

市長 スポンサーの希望があれば、積極的に対象を広げていきたい。

伊那スタジアムの広告について

唐木拓議員 フェンスに広告掲載がないのは、命名権の募集と関連性があるか。

市長 命名権者が現れた場合に、外野フェンスに自社の広告をすることも想定されることから、市によるフェンス広告

掲載は実施していない。

唐木拓議員 外野フェンスへの広告は、企業にとつて

単なる宣伝のほかに多くのメリットがあり、命名権より収入が多いのであれば広告募集の方が良いのでは。

文化スポーツ部長 過去に業者へ一括して委託する方法をとっていたが、広告収入は命名権の募集金額より低い金額であった。市にとつて良い方法を検討したい。



子どもの貧困対策と生活困窮世帯への支援策について

田畑正敏議員 コロナとていう特別な事情があったにせよ、生活困窮世帯の実態をどう捉えているのか。

市長 コロナ特例貸付を行った世帯は524世帯であり、コロナの影響を受け日常生活の維持が困難となった世帯が多い。子育て世帯、就労収入が安定しない世帯については、今後も

継続した支援が必要と考える。

田畑正敏議員 潜在的な困窮世帯に対し、抜本的対策を講じる必要があると思うが。

市長 行政、社協、各事業所など関係機関との連携を図り、重層的支援体制の整備により見守りと自立支援を図っていく。また、生活力を確保できる就労支援についても、関係機関と連携した支援体制の強化によりマッチングを進めていきたい。

移住起業家への支援体制について

田畑正敏議員 日本一の起業、創業支援を目指し、「起業支援制度の新設」を提案するが。

市長 現時点での新設は考えていないが、今ある2つの事業の自身について拡充を含め検討したい。



請願・陳情

請願・陳情は、原則として定例会開会前に開催される議会運営委員会の前日正午までに提出されたものを、その定例会で審査します。

ご提出いただきました請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託され、審査を行います。本会議での委員長報告後、採決します。

次回12月定例会審査の受理期限は、11月16日正午です。（期限は、変更となる場合もあります。議会事務局へご確認の上ご提出ください。）

傍聴にお越しください

市議会は、どなたでもお気軽に傍聴することができます。是非お越しください。

QRコード

議員の写真下にあるQRコードを読み取ると、一般質問の動画が閲覧できます。ご活用ください。

*「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

過去の議案などについて

過去の議案、議会中継映像などについては、市議会ホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。



伊那市議会
ホームページはこちら



お知らせ

第7回 市民と議会との意見交換会開催報告

伊那市議会は、市民の皆さまに開かれた議会を目指して活動しています。

今年の「市民と議会との意見交換会」は市内5会場で6回開催し、多くの方にご参加いただきました。

各会場ごとにテーマを設け、皆さまの熱心な声・正直な声をお聞きましたので、その一部を紹介します。

8月11日(金)祝 10:00~

会場 高遠町総合福祉センター やますそ

公共交通のあり方について

- JRバス高遠線(高遠~伊那市街地)はあまり乗車していないように見えるが、利用状況がどのようになっているのか周知してもらいたい
- バス停に日除けや荷物を置けるような待合所(施設)がほしい
- 近隣に商店が少なくなった地域では、車が必要なため免許返納ができない
- ぐるっとタクシーが人手不足なら外国人労働者を運転手として雇ったらどうか
- 移動困難者にとって、移動販売のとくし丸は大変便利で助かっている人が多い

サルの被害対応について

- 長藤地区では、多いところでは50~60匹の群れになって畑を荒らされている状況がある
- 追払い対策として市販の鳥獣用火火が有効なので、購入補助をしてほしい
- 畑の防護ネットの補助をしてほしい
- 猟友会に協力を依頼したり、他地区で効果のあった取り組みをしてみたい

8月10日(木) 19:00~

会場 いなっせ5階 伊那市生涯学習センター

公共交通のあり方について

- ぐるっとタクシー、デジタルタクシーの運行時間を延長してほしい
- 利用料金を上げて、使い勝手のよいものがよい
- 体の不自由な人の乗車には付添人も同乗できるようにしてほしい
- ぐるっとタクシーの運行時間終了後の、ボランティア送迎や助け合い送迎について検討してほしい
- 路線バスのバス停の間隔(距離)を短くしてほしい

子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのかかわりについて

- 不登校の子どもを受け入れる伊那市、ひとり親を受け入れる伊那市になってほしい
- 子どもの居場所を、伊那弥生ヶ丘高校の将来活用の中に入れてほしい
- 市民と議会との意見交換会を、もっと頻繁に開いてほしい



8月10日(木) 19:00~

会場 inadani sees (産学官連携拠点施設)

高校再編とこれからのまちづくり

- 伊那新校は地域密着型の進学校にしてほしい
- まちづくりでは民間と協力した学生寮の建設を望む
- 伊那弥生ヶ丘高校の将来活用については、企業の誘致や、多様な学びの拠点とすることを検討してほしい
- 伊那北駅前交差点と踏切の改善、駅には生徒の使いやすい居場所の設置が必要
- 新校では郷土愛を育み、企業と協力し合う関係を高めたい
- まちは、多様な人が集い、緑が多く、楽しんで学び合う空間にしたい



8月22日(火) 10:00~

会場 高遠子育て支援センター

子育て世代の声を聞かせてください

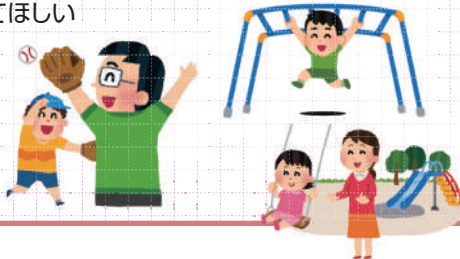
- 雨の日でも遊べる屋内の遊び場がほしい、公園マップなどで、施設の内容を周知してほしい
- おむつの定額サービス(サブスク)がほしい
- 1歳未満の子を急に預けたいときに困っている
- 育休中の保護者に金銭的支援をしてほしい
- 1年目から希望の保育園に入れるようにしてほしい
- 病児保育の手続きをもっと簡素化してほしい
- タブレットの使用は学校内に限ってほしい
- 子育てに関する情報をネットやInstagramなどのSNSで発信してほしい
- 父親の育休が普及していない

9月30日(土) 10:00~

会場 伊那公民館

公園等の遊び場について

- 街なかにバスケットボールやキャッチボールができる場所がほしい
- 公園内のトイレを洋式化してほしい。また、冬場でも使えるようにしてほしい
- 草刈りが不十分な公園がある
- 使えない遊具が放置されている場所を整備してほしい
- 長谷や高遠に遊具で遊べる場所を作してほしい
- 学校帰りに寄れたり、家族で憩える公園がほしい
- 公園以外の場所でも、遊んでよい場所には、遊べるという表示をしてほしい
- 子連れで歩いていける公園が必要だが、少ない
- 動物と一緒に遊べる公園がほしい
- 利用できる公園のマップを産後検診などで配布してほしい



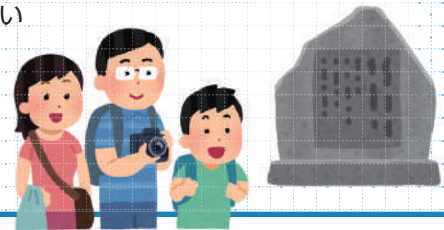
9月26日(火) 19:00~

会場 高遠町総合福祉センター やますそ

これからの観光

~人・こと・もの・技をいかして~

- 山は伊那市の大きな資源なので、現在は不使用でも眺めのよい昔からの山道を整備して、魅力の開発も検討してほしい
- 農家民泊の拡大と楽しめる体験メニューの開発をしてはどうか
- 若い親子がゆっくり楽しめる場所やイベントがほしい
- 冬場の誘客も含め、年間通しての魅力工夫して発信してほしい
- 伝兵衛井筋などの産業遺産や、歴史博物館収蔵品等の歴史的財産を官民の連携で活用したらどうか
- 上伊那広域で、観光資源の開発と発信をしてほしい
- 伊那を訪れるお客様が宿泊したくなるプランを考えたい



今後の対応

- ◎ 今回いただいた貴重な意見は、市担当部署の対応状況を確認し、各常任委員会で検討の後、報告書としてまとめ、公式ホームページ上に公開するほか、各支所・各会場等へ冊子を配布します。
- ◎ 早期に解決が必要な緊急課題や引き続き協議する重要課題などに分類し、市政への提言などにつなげていきます。